

Ola Gjeilo (1978-)
„Unicornis captivatur“

O. イエイロ「囚われた一角獣」

この曲の詩は、スイスのエンゲルベルク修道院が所蔵している「エンゲルベルク写本」の中にある。この写本は中世の詩を集めて編纂されている。この詩を書いた詩人は、キリストを伝説上の動物ユニコーン(一角獣)やフェニックス(不死鳥)で象徴したり、再生(復活)能力がある生物ヒドラなどに置き換えたりしている。またペリカンにキリストの受難を重ね合わせている。

Unicornis captivator	一角獣(ユニコーン)は捉えられ
Aule regum presentatur	王宮の中庭に引き出された
Venatorum laqueo,	狩人の罠にかかったのだ
Palo serpens est levatus,	檻(おり)の中でもがき、這いまわった
Medicatur sauciatus	傷を負っているのだ
Veneno vipereo.	蛇の毒を使って自分で治そうとした
Alleluia canite, Agno morienti,	瀕死の子羊にアレルヤを歌え
Alleluia pangite,	神を賛美する歌を歌え
Alleluia promite Leoni vincenti	勝利のライオンにアレルヤを叫べ
Pellicano vulnerato	傷を負ったペリカンは
Vita redit pro peccato	その命が蘇る
Nece stratis misera,	世界の罪のためにこの地上で哀れな死をとげた
Phos fenicis est exusta,	フェニックス(不死鳥)の光は消えた
Concremanturque vetusta	古い世界の罪は炎によって
Macrocosmi scelera.	完全に焼きつくされた
Alleluia canite...	アレルヤを歌え……
Idrus intrat crocodillum,	ヒドラはワニの腹の中に入り込んだ
Extis privat, necat illum,	ワニの内蔵を奪うために、そして死んだ
Vivus inde rediens;	しかし再び生き返った
Tris diebus dormitavit	ライオンは3日の間 眠り続けた
Leo, quem resuscitavit	神の呼び声がライオンを
Basileus rugiens.	起こすまで
Alleluia canite...	アレルヤを歌え……